

# 青森県総合社会教育センター主催事業報告

## 道仏中学校 ワークショップ

### 1 ワークショップに係る学校の要望等

企画の категория	<input checked="" type="checkbox"/> 高校・大学進学 <input type="checkbox"/> 将来の進路 <input type="checkbox"/> 多様な価値観 <input type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> その他
実施する目的	年上の大学生との交流や意見交換を通して、自分自身の今と将来について向き合うきっかけを作るとともに、自己の変容を目指して努力することを通して、キャリア形成につなげる。
ワークショップ終了後の目指す姿	夢や志の実現に向かい、力強く前進し努力する姿

### 2 要望を受けた上でのワークショップのテーマ

テーマ「 Antenna (アンテナ) 」

この企画の category は「将来の進路」です。  
 実施する目的は、①「年が近い大学生と心を開いて意見交換をする」、②「自分の将来について考えるきっかけを作る」、③「自分の経験から得た強みを今後のキャリア形成に生かす」の3つです。  
 テーマは「アンテナ」としてワークショップを進めていきます。このテーマとした理由は2つあります。  
 1つ目は、中学生のみなさんに、色々なことにアンテナを張って生活することが重要だと知ってほしいからです。私たちは「アンテナを張る＝関心を持つ」と定義し、中学生のみなさんが、これからの長い人生の中で、すべての人や物、出来事に関心をもって生活してほしいと思っています。その理由は、「心が動く印象的な瞬間に出会う」ことができるからです。ですから、今回のワークショップでは、アンテナを張って生活することの重要性をわかってもらえるような内容で進めていきます。  
 2つ目は、アンテナを張ることで得られた「印象的な瞬間」を積み重ねていくことで、自分の強み(長所)を生かせる職業に就いてほしいからです。そして、中学生のみなさんが職業を決める際に、「迷いなく自分がやりたいことはこれだ!」と自信を持って言えるような職業に就いてほしいと考えています。そうすることで、やりがいを感じながら、楽しく仕事をすることができ、有意義な人生を歩むことができるはずです。  
 これらのことから、「アンテナを張って生活することの重要性を理解してもらうこと」を意識して進めていき、ワークショップ終了後の「迷いのない進路決定」の達成を目指していきたいと考えています。

### 3 参加生徒数

第1～3学年 43名
------------

### 4 報告

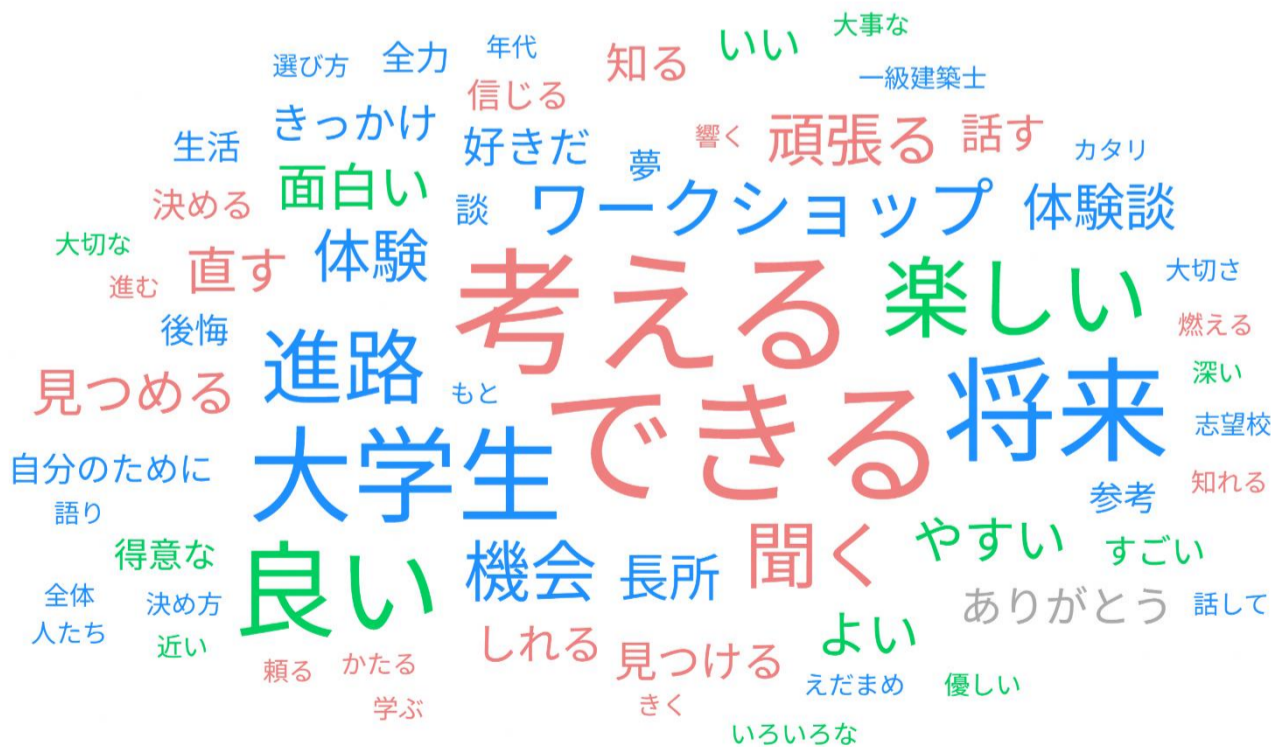
(1) 参加生徒へのアンケート結果 (有効回答数42名、有効回答率97.6%)

#### ア 有意義度調査

1 ワークショップは有意義でしたか?	3.95
2 ワークショップでの活動において「今の自分・これまでの自分」を見つめなおす機会となりましたか?	3.95
3 ワークショップでの活動は「将来の自分・進路選択」について考える機会となりましたか?	3.74

※アンケートはすべて4件法で実施。数字が多いほうが高評価。

#### イ 自由記述によるテキストマイニング分析



いろいろな年代の先輩たちの体験談を聞き、ワークショップで多くの大学生と直接交流したことで、参加者は自分の将来や進路について具体的に考えられるようになり、好きなことや得意なこと、長所を再認識して志望校や将来の夢を定めたり進路決定の方法を理解したりしたと多くが述べており、聞きやすい工夫や活発な交流により目標設定のイメージが湧き、自分を見つめ直して後悔のない選択をしたいという前向きな意欲を持つようになった。

#### (2) 学校へのアンケート結果

1 ワークショップの満足度は?	5
2 学校としての実施目的の達成度は?	4
3 生徒がワークショップへ参加している様子から、進路や目標を明確に意識できる様子が見られたか?	4

※アンケートは5件法で実施。数字が多いほうが高評価。